

2019年 環境報告書

当社は昨年末にISO14001:2015の更新審査を受け、認証の継続を果たしました。

ウレタン製品加工の専門工場として、ウレタンリサイクル製品の拡大販売や環境ビジネスへの展開を見据えた企業活動を実践することが環境への配慮と考えております。生産活動においては省エネルギー化を推進するとともに徹底した防火・防災活動の実践をしております。

2019年 当社が重視して取り組みました内容は以下の通りです。

1. 防火体制と緊急事態への対応を確立し、火災を発生させない工場作りと被害の最小化を期す。

全社にて避難訓練、放水訓練を実施し、火災発生の予防に努めてまいりました。さらに世代交代があったこともあり、緊急連絡網の整備と同時に自衛防災隊の組織図の改訂を実施致しました。また、昨年に引き続き、毎朝、オカウレ(株)工場周辺の清掃活動を行ない、景観悪化の防止と火災延焼防止に努めています。今後も安全管理と防火体制の強化に努めてまいります。

2. チップ製品、環境関連商品の販売を拡大し、自社製品の環境影響の軽減を小さくする。

発生したロス材をチップ状に粉砕し、再加工して用途に応じた比重・硬さのウレタン(チップウレタン)を製造しております。産業廃棄物として処理されるウレタン材料の中でもリサイクルできる材料を分別し、成型品として加工することで、産業廃棄物排出量の削減に努め、環境影響の低減に努めてまいりました。

3. ウレタン加工に必要な動力、照明及び熱源、重油の使用効率を高める生産システムを構築する。

2013年にデマンド監視装置を導入し、デマンド値(30分間の平均使用電力)の見える化により、電気使用量の把握が容易なものとなりました。デマンド値を監視することで、従業員の節電への意識を向上させることにも繋がり、直近の3年間では2017年:380kw、2018年:388kw、2019年:392kwにて推移し、目標値を達成しております。昨年に引き続き、工場内照明の全社LED化に向けて、計画を立て動き出しました。蛍光灯に水銀を使用しないLEDに切り替えていくことは、環境問題の上でも大変重要であると考えています。今後は設備の生産効率を高めていくことも視野に入れ、活動してまいります。

4. 法的・その他の要求事項に適合する安全な製品を製造するとともに、環境影響の大きい化学物質削減に努める。

接着工程にて使用中の有機溶剤に対し、安全衛生面から特定健康診断及び作業環境測定の実施を推進してまいりました。作業環境測定の結果については良好な結果を示しており、労働安全衛生の観点からも従業員に優しい工程作りを目指して努力してまいります。

5. 産業廃棄物排出量を削減し、環境への負荷を軽減する。

テープ付ウレタンの再利用に向けて、外注業者にテープ剥がしを依頼し、リサイクルに努めてまいりました。産業廃棄物としては、約1.4t/月程の削減が出来ており、環境への負荷低減に努めております。

当社の環境目標と昨年の実績は、以下の通りです。

目標	実績	対目標評価
a, 火災等緊急事態の発生 0件	発生 0件	○
b, 電力使用効率 コンプレッサーの電力使用量の監視 (※本年は、電力使用量の把握のため、監視のみ)	-	-
c, 産業廃棄物量の監視 (※紙付断材の剥がし重量%=産廃比 6%以上)	11.0%	○

2019年12月末日実績 評価;○達成率100%以上

△達成率80%以上

×達成率80%未満

以上、当社は今後とも環境に関する法令、条例、協定を遵守して全従業員はもとより、関係会社の関係者全員で環境影響軽減活動に取り組んで参りますので、今後も皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

令和2年01月30日

オカウレ株式会社

代表取締役社長 高井 忠